

【参考2】 経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成について

ICTの急速な発展のもと、データに基づく数量的な思考により、課題を解決する能力、いわゆる、“データサイエンス”を身に着けた人材が不可欠。

これにより、我が国の国際競争力を維持し、経済成長を加速。

※ いわゆるデータサイエンスとは、データに基づく数量的な思考により、課題を解決に導く科学のこと

【課題】 我が国でデータサイエンスに関する人材が不足。

このため、“データサイエンス”力の高い人材育成とその学習基盤整備が急務。



【当面の政策】

統計(データ)リテラシーの普及・啓発を先導してきた総務省が、ICTを活用し喫緊の本課題へ対応。ビジネスマンなどの社会人に対するデータサイエンス普及のための以下の取組を統計学会等と協力し、推進。

① 統計力向上サイト「データサイエンス・スクール」の開設(平成26年6月1日)

パソコンやスマートフォンなどでデータの活用方法や統計に関する知識を、いつでも誰でも気軽に学べる学習サイト

② 「データサイエンス・オンライン講座」の立上げ(平成26年度内)

自らの学びをサポートするウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義
⇒「MOOC」を活用



➡ 「世界最先端IT国家創造宣言(平成25年6月14日閣議決定)」に基づき推進